

# 住民と力をあわせ要求を実現し、市政を動かす

## 日本共産党神戸市会議員団の役割と値打ち

神戸市会議員選挙は来年3月31日告示、4月9日投票でおこなわれることが決まりました。(11月11日国会成立)  
6月議会の議決をうけて定数65(前回比4減)となります。

### 住民目線で共同をつくり、切実な 願いを実現する

日本共産党神戸市会議員団は、2019年の選挙で9名の議員を送り出していた  
ただき、長引くコロナ禍と物価高騰のもとで、困っている人のもとに駆けつ  
け、悩みに寄り添い、住民との共同の運動ひろげ、野党であっても市政を動  
かしてきました。



王子公園・動物園の充実求める署名

#### 中学校給食の実現、充実を粘り強く

神戸の中学校給食は、長年「家庭弁当持参」でした。日本共産党神戸市会議員団は、保護者や住民のみなさんと9万を超える署名を集め、中学校での給食を実現。さらに、コスト最優先し民間工場から配送される「冷たい、美味しくない」デリバリー弁当方式の給食の転換を粘り強く求め、ついに「全員喫食のあたたかい中学校給食」を神戸市は表明しました。

日本共産党神戸市会議員団は、地元産や有機農産物を活かせる安全・安心な自校調理方式、学校給食の無償化実現へ頑張ります。さらに子育て応援の神戸へ、高校卒業まで医療費無料化や、少人数学級の実施をめざしています。

#### コロナや物価高から、命とくらし雇用と営業を守り抜く

長引くコロナ禍に加え円安・物価高騰のもとで、街かど相談会や市民アンケートなどで「困ったときは共産党にご相談を」と呼びかけ、苦しむ住民と事業者のも

とに駆けつけ、生の声をお聞きし、議会で取り上げ、解決に取り組んできたのが日本共産党神戸市会議員団です。

そうしたもと、全国に先駆けて実施した事業者家賃補助や支援金を実現。PCR検査の拡充や病床の確保、保健師の増員を繰り返し要求し、物価高騰の影響を受ける学校給食費の補助、公共交通や介護・福祉・児童施設や銭湯への運営支援にもつながっています。

非正規労働者や規模の小さい事業者が、真っ先に仕事を奪われるような弱肉強食で危機に弱い神戸経済からの転換が必要です。日本共産党神戸市会議員団は、中小企業や農林水産業、フリーランスを支援し、働くものの賃金を引き上げることを、経済政策の中心に据えてとりくみます。

また、保健所と医療提供体制の切り捨てをやめさせ、拡充に転換します。

#### 住民の身近で、地域の切実な願いの実現へ

日本共産党神戸市会議員団は、草の根ネットワークを活かして、住民の身近

で、地域の切実な願い実現にも全力をあげてきました。

六甲アイランドの高潮対策、高橋川の橋堤防のかさ上げ、鶴越筋や伯母野山東の砂防堰堤、西河原地域の雨水幹線整備などの防災対策。HAT神戸の小学校と支援学校新設、高羽小学校の仮設校舎の本校舎化など教育環境整備。名谷・北神・西神中央に図書館整備。阪急花隈駅や阪神西元町駅、大開駅エレベータ設置などバリアフリー化。西市民病院の病床確保。みんなのバス(兵庫南北)などコミュニティバス整備や、神鉄シーパスインの拡充や高校生への定期代補助など交通費負担の軽減などが実現しています。

また、痴漢ゼロなどジェンダー平等推進や、石炭火力発電所ストップなど気候危機をただす取り組みにも全力をあげています。

日本共産党神戸市会議員団は、どこに住んでいても、安心して暮らせるよう地域のみなさんと一緒に頑張ります。

#### 現議長が語る 運動と論戦の力「運動が広がり、選挙でもたん」

「中学校給食のときは、私たち自民党は反対やったんですね。…ところが、選挙を交えてかなりの運動が繰り広げられて、自民党の私たちの会派も、もうこれは選挙でもたんというふうな空気が出てきた。やむなく私たちの会派も、今のシステムに踏み切った」

(自民党・安井俊彦議員・2019年9月20日文教こども委員会)



2023年度予算編成についての要望書を神戸市長宛てに提出  
2022年11月21日

# 抜群の調査力と現場主義で、 市政をチェックする

住民の目線で市政をチェックすることは議会と議員の最大の仕事です。日本共産党は、神戸市の施策の影響をうける住民や地域のもとに駆けつけ実態を聞き、9名の議員が9つの行政区で調査し、市政チェックする徹底した現場主義を貫いています。

2019年、神戸市は、「都市空間向上計画」(素案)を発表。日本共産党神戸市会議員団は、この「計画」が、垂水区や西区の大半を切り捨て、神戸市による開発団地(渦森、鶴甲、ひよどり台、須磨ニュータウン、西神中央、西神南など)への責任も放棄する、郊外・ニュータウン切り捨て計画であることを解明。神戸市が作成を拒否していた居住区域外の地域別のマップを議員団独自に調査・作成し全戸

配布し、各地で市会報告会も開きました。驚いた市民から1176件もの市民意見が神戸市に寄せられ、団地ぐるみの見直し署名が取り組まれた結果、当初30%の地域が居住区域外と指定されていたものを、5%程度に縮小させました。

日本共産党神戸市会議員団は、市長提案の予算に対して、22年連続で予算の組み替えを提案。提案してきたことから、



日本共産党神戸市会議員団作成の市会報告

外郭団体等への過大な補助金の抑制、100億円以上積みあがった財政調整基金の取り崩し活用、子育て世帯向けの住宅リフォーム助成の拡充、使われていない市有地への学校や保育施設の誘致などが実現。市民の願いに裏づけられ、市政の無駄を削る実効性ある財源対策は、市政を動かしています。

## タブーなく、巨悪に挑み 神戸の民主主義を守り抜く

日本共産党は、企業・団体からのひも付き献金や、政党助成金を一円も受け取らないからこそ、神戸市議会でも、タブーなく、追及ができます。

議会でも「(王子公園周辺に)新たな大学の誘致なども含め積極的に検討を」「神戸空港の国際化(整備)に、一般財源を使え」(自民党・安達和彦)「三宮再整備・大阪湾岸道路西伸部の財源を(事務事業の見直しで)確保して行うという

のは当たり前」(公明党・藤本浩二)「神戸と(万博やカジノの)夢洲を結ぶ海上ルートを公費で検討を」(維新の会・辻康裕)など、自民・公明・維新・立憲などの会派が久元市長の予算に賛成して大型開発を推進しています。そうした時に

も、財界・大企業が目線ではなく市民の目線で無駄な大型開発を追及しているのが日本共産党神戸市会議員団です。

統一協会(世界平和統一家庭連合)の問題では、自民党神戸市議の仲介による幹部職員のイベント参加と寄付行為、市からの助成金支出が明らかになりました。日本共産党神戸市会議員団は、久元市長名で感謝状まで、統一協会関連団体に渡していたこと示し、「統一協会の広告塔となり、被害をひろげ、神戸市の施策を歪めることは許されない」と、政治家・自治体と統一協会の癒着関係を断つことを正面から追及しています。

### 議案・請願・陳情に対する各会派の賛否一覧 (○採択、×不採択、■審査打切)

	件名	日本共産党	自民党	公明党	日本維新の会	立憲民主党	つなぐ	共創・国民民主	国民民主党・友愛	結果
議案 2022年	2022年度一般会計予算	×	○	○	○	○	×	○	○	承認
請願 2020年	少人数学級実現	○	×	×	×	×	○	×	×	不採択
陳情 2022年	王子公園・動物園再整備計画	○	■	■	■	■	○	—	—	審査打切
陳情 2022年	同性パートナーシップ制度創設	○	■	○	○	○	○	—	○	採択
陳情 2022年	学校給食の無償化	○	■	■	■	■	○	—	■	審査打切
陳情 2022年	補聴器購入の公的助成	○	■	■	■	■	○	—	■	審査打切
陳情 2022年	済生会兵庫県病院と三田市民病院の統合中止	○	×	×	×	×	■	×	×	審査打切

ぜひご視聴ください

## 大かわら鈴子議員と朝倉えつ子議員が一般質問に登壇します

日時 12月7日(水)10時頃から

場所 市議会本会議場 質疑時刻が遅れる可能性があります。あらかじめご了承ください。

本会議のインターネット中継をおこなっていますので、ぜひご利用ください。

ご視聴はこちら

